

**寒川町みんなの協働事業提案制度モデル事業  
(平成29年度実施事業) 中間報告会**

資料 5

日 時	平成29年11月14日(火) 午後3時～5時
場 所	町民センター 視聴覚室
出席 団体等	各協働事業提案団体、寒川町協働事業選考委員各位(柄澤委員、深澤委員欠席) 事務局(協働文化推進課)：芹澤課長、米山主幹、越原、内藤
件 名	寒川町みんなの協働事業提案制度モデル事業(平成29年度実施事業) 中間報告会
概 要	<p><b>■中間報告①</b>  協働事業名：さむかわ広域リサイクルセンター遊歩道緑地花壇整備事業  団 体 名：さむかわ広域リサイクルセンター遊歩道緑地花壇  事業協力課：環境課</p> <p><b>団体からの報告</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リサイクルセンターの緑地帯の草むしりや水やり等の活動を月に十数回行い、花壇の整備をしている。</li> <li>・花壇の整備に必要な薬剤散布用の噴霧器や剪定ばさみ等を補助金により購入。</li> <li>・子育て支援サークル及びさむかわエコネットと協働して幼稚園の子どもと共に植栽を行った。</li> </ul> <p><b>事業協力課からの報告</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当施設に見学に来る方々に、活動内容の紹介をしている。</li> <li>・緑地帯には土が少なく、植物を育てるのに苦労するため、刈った草を根元へ置き、保湿できるよう、草刈りの委託業者と調整した。土については、改善できないか内部で検討していきたい。</li> </ul> <p><b>質疑応答</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土少なかったということについて、当初の企画提案のときには、5年前から活動されているということだったが、土の状況をどう認識していたのか。  →活動開始当初は、土がそんなに悪いとは思わなかったが、活動を進めていくうちに、スコップで土が15cm程度しか掘れないことがわかった。</li> <li>・予算の執行状況について、原材料費の執行率が約14%となっているが、3月までの予算執行についての考えを聞きたい。  →11月にパンジーを150株購入したが、今後は、スイセンやチューリップを購入するため、1万円を予算計上しており、現時点では約300円の予算超過となっている。</li> <li>・咲いている花を寒川町で取り入れている「さむかわいい」のように、インスタグラムでアップすると皆さんに来ていただくようなアクションがとれるなど、ある程度の花の規模があれば、今後観光協会とうまく連携をとることもできるのかと思うので次のステップに進んでいただけるといいかと思う。</li> <li>・周辺環境を整え、外部からの施設見学者から「整備されていて、よかった」などという感想が出るような方向に繋がればいいと思う。</li> </ul>

- ・他団体の協働による取り組みについて報告があったが、今後も協力は得られるのか。  
→会員が高齢なので、後継者が居たらいいと思う。

## ■中間報告②

協働事業名：野良猫を捕獲して、不妊去勢手術をして、元の場所に戻す活動（TNR活動）  
及び子猫の保護と里親制度の活用

団体名：寒川ネコの会

事業協力課：環境課・都市計画課

### 団体からの報告

- ・一之宮公園や神川橋及び河川敷並びに個人宅からの依頼を受け、TNR活動や子猫の保護を行っている。
- ・神川橋の河川敷に捨て猫が多く見受けられる。
- ・「エサくれ」をする方への対応策として、不妊去勢手術をして飼育するようお願いしている。
- ・里親探しは、パンフレットを作成し、スーパーや美容院等に貼付して募集した。寒川町や茅ヶ崎市主催の譲渡会において子猫の里親が全て決まったため、現在、保護している子猫は居ない。
- ・予算の9割以上を執行しているが、猫の出産時期である春から夏にかけてTNR活動をして保護をするため、前半に支出が大半を占めることとなる。

### 事業協力課からの報告

- ・現在、一之宮地区に範囲を広げて活動をしていただき、一之宮公園は、猫の苦情が随分減ってきているが、ゼロにするのはなかなか難しい。
- ・河川敷に非常に野良猫が多いが、不妊去勢により何とか今は落ちついている。
- ・里親を見つけるための譲渡会の開催にあたり、ホームページへの掲載及びポスター等の作成をし、JRや茅ヶ崎市役所、スーパー、郵便局、銀行等に掲示依頼をし、団体が活動しやすいよう、町でなるべく周知活動を行っている。

### 質疑応答

- ・無責任に「エサくれ」を行っている方への対策については、行政と一緒にではなく、行政が中心になり、回覧や立て看板等で野良猫に餌をやるなくらいの周知をしていただきたいと思います。
- ・町からの補助金がなくなった場合の活動はどのようにするのか。  
→もともと30万円の補助金だけでは活動ができないため、野良猫を捕獲するときは、依頼主の方に手術費や治療費等の一部補助をお願いしている。また、里親の方にもそれまでに要した餌代や砂代等及び野良猫の病気の治療費として、一律金額を決め、寄付金を頂いている。
- ・活動を開始してから対処した野良猫の実績数も報告書に記載していただき、成果がわかりやすくなれば、周りからの支援等に繋がるのではないかと。  
→わかりました。  
→〔事業協力課〕新たな賛同者が得られればいいと思うので、団体と調整をし、できるだけ実績の数字を出せるようにしたい。
- ・みんなの協働事業提案制度モデル事業終了後の考え方を改めてお聞きしたい。

→事業協力課である環境課に、これまでの補助金の代わりとなるものがないか、今お願いをしている段階。

→〔事業協力課〕来年度予算の話なので、今ここで申し上げられないが、内部で調整し、今後もぜひ続けていただけるような形にしたいと考えている。

### ■中間報告③

協働事業名：川とのふれあい公園花壇等の整備および維持管理

団 体 名：川とのふれあい公園花壇の会

事業協力課：都市計画課

#### 団体からの報告

・11月1日時点での予算の執行状況は、切手代や紙代、ラミネート加工代等に支出する予定の役務費の残金が1万2,000円程度となる。

・今回の事業の一つのメインは、昨年からの継続で、花壇で出た草花を堆肥化するためのパネル区画の残り半分を製作することとなっている。

・川とのふれあい公園には公園の案内板がないため、掲示板を作り、案内図や・生き物だよりを載せたいと思っている。

・現在ボランティア会員の3分の1ぐらいがやめてしまったため、増えた空き区画は4区画を町との協働の花壇にするため作業しており、現在合板パネル区画の設置は完了し、10月以降は球根の購入等、大体予定どおりの進捗状況にある。

・昨年作ったパネル区画のパネルが風等により飛んでしまっている所があるので、少しずつ修正をしている。

・問題は、昨年に町と協働でやろうとした2番の区画の花壇だが、花が枯れるまで放っておくとボリュームが増えて狭くなるので、できれば花が枯れる前に刈り入れることを少し進めていったほうがいいのかと思っている。

・ボランティアの方を増やすために、設置した掲示板にボランティア募集について貼付していただいたところ、町外の方から花壇使用について声をかけられたが、そういった方が少しでも増えれば、花壇をやっていただけるかと思っている。

#### 事業協力課からの報告

・掲示板について、当初予定していた独立型タイプで河川管理者と調整をしたが、難しいとのことで、既存の工作物に設置をし、ボランティア募集の案内を貼付した。公園の案内図については、現在制作中。

#### 質疑応答

・昨年と今年で原材料費と備品購入費を執行されているが、必要な材料、備品は揃ったと考えてよろしいか。

→予算計上したものは購入し終わったが、資金がないので今後は新たに事業を提案しない。年を重ねると花壇を耕すのは重労働となるため、耕運機があったほうが花壇を耕すのは楽だろうと思っている。皆さんの労力を軽減するような道具と仕組みを考えてあげることが、これから必要なかと思う。

・今までより活動は縮小するが、何とか維持しようとしているということか。

→空き区画では今、大変なことが起こっており、チガヤが繁茂し、チガヤの草原になってしまっているため、そこを耕して花壇にするという気が起こらない。上のほうは町で刈って

いただいているが、チガヤは、根っこを取らない限り解決しないため、なかなか厄介な課題である。

・これまで取り組んだところ、また草が生い茂ってしまうのは非常にもったいないので、今後どのように継続するかということについて、抜本的な方法を考えたらいいのではないかと  
思うので、都市計画課にもお願いしたい。

→〔事業協力課〕より多く外へ発信していくような形を考えていきたいと思う。

・来年以降のお考えがあればお聞きしたい。

→会費をとっていないため、人力でカバーするしかないが、草取りが大変だと思われる方がいることは間違いないので、我々の会で何人か作業をかわりに手伝ってあげるという  
仕組みができればと個人的には思っている。

#### ■中間報告④

協働事業名：町の樹木再生による水と緑の自然溢れるさむかわ創生活動

団 体 名：住みよい町・さむかわにする会

事業協力課：道路課・都市計画課・教育総務課

#### ■団体からの報告

・進捗状況や費用等は、予定通り進めることができた。

・寒川駅の南口には、約90本のサツキツツジの植栽をした。北口にあったハナミズキが枯死してしまっただけ、急遽、事業協力課と共に撤去の上、別の樹木に切り替えた。

・駅前公園の北側にある2本の木に「樹勢回復中」の看板をつけたが、樹勢がまだ不十分なため、集中的に養生を加えているが、来年度以降どのように管理していくかが課題の一つとなっている。

・周辺住民の方々あるいは駅の乗降をされる方から、県道47号線沿いも除草活動をしてもらえないかという話があったが、なかなかそこまで手が回っていないため、ニーズにどう対応するのかが課題として出てきた。対策としては、各種団体が自発的な除草活動や水やり活動に参加していないという事実があるため、全体的に音頭をとり、システマティックに行えるようにしていかないと、今回のようなスキームが成り立たないという状況が来年度以降あるとすれば、改めて検討していただく必要があるのではないかと思います、我々にとって何ができるのかを検討している。

・4月～9月で、延べ人数159人のうち事業協力課には8人に出迎えていただき、除草活動で出た残材片づけもしていただき、住民と役場の協働関係がよくなったと思っている。

#### ■事業協力課からの報告

〔都市計画課〕

・計画書にはないが、寒川中央公園の記念樹が瀕死の重症だったため、ご相談をしたところ、快く受けていただき、お手伝いいただいた。

・来年度以降、我々としても何か新しい仕組みづくりができないかと今考えている。

〔道路課〕

・芝の確保及び剪定していただいた枝等の回収を行った。

#### ■質疑応答

・本来、中央公園の樹木の管理等は、業者でやるべき仕事ばかりではないかと思うので、これを協働事業という形で各団体をお願いしていること自体が行政としてはいかがなものか

と思う。専門家が居ないからやむなくお願いしているのであれば、それは行政から各専門家の団体へお願いする仕組みを作っていくかといけないのかと思う。

・県道47号線沿いの整備が要望されているということだが、これは県の役割ではないのか。

→【都市計画課】トヨタカローラまでのところから東が県道になっており、そこから西は町道になる。県道については、道路管理者である県が行う。

・当初計画の時に寒川小学校の百年桜及び旭小学校のケヤキについても今年度取り組むという提案があったがどうなっているか。

→毎年定時観測及び作業をしている。10月に活性液を大量に投入しており、11月以降は樹木は休みに入るため、寒川町にある公共施設に寒川町の木であるキンモクセイが何本あるのかを調査しているので、また改めて報告する。

・来年以降も継続的に活動はしていただけるのか、それとも縮小せざるを得ないと考えているか。

→誰かが世話をしない限り、あつと言う間に元に戻ると思うので、個人的には続けなくてはならないと思っている。色々とスキームづくりを進めなくてはいけないのが今の実態。

### ■中間報告⑤

協働事業名：子ども未来塾～生活困窮家庭の子どもへの「学習支援事業」～

団 体 名：住みよい町・さむかわにする会

事業協力課：学校教育課

### ■団体からの報告

・現在、3年生は10名から16名に増え、2年生は1名減り4名となり、1年生が1名でトータルで21名になっている。

・1人で5名ぐらいを見るのが適しており、20名になると4名体制になるため、2名は外部の講師に頼らざるを得なくなり、費用が少しずつ増えてきている。問題点・課題点は、知名度不足と書いているが、現時点では当初の想定人数に達している。来年度以降、補助金がなくなってもこの事業は続けていく。

### ■事業協力課からの報告

・学校教育課は、学校教育が専門なので、放課後の部分では、入試や今の学校の授業の内容、入試の動向等について連絡を取るほか、今の子どもの考え方等を団体の方とご相談をさせていただき、子ども達への接し方等についてアドバイスをさせていただいた。

### ■質疑応答

・内部の講師で足りないところは、外部講師を依頼しているということだが、外部と内部の講師の内訳はどうなっているのか。

→外部の講師は3名をお願いしており、そのうちの2名に常に出てもらおうような仕組みにしている。

・195名のメンバーの中に、学校の先生の経験者は何名いるのか。

→1名いることは確かだが、あとはわからない。

・教育委員会も承知していると思うが、ボランティアでこういった塾をやっているところが幾つかあるので、町の補助金を出している塾とどうして違うのかという話になる。団体の内部で、先生を経験されている方をもう少し積極的に募集し、内部でやっていただくということが必要だと思う。

・問題点・課題点のところに、「その上の層を含め、全員志望校合格を期す」とい書いてあるが、生活困窮者のためにこの塾をやるということとのリンクはどうなっているのか。

→志望校に全員合格させるというミッションは我々の仕事ではないので持っていない。志望校を伺い、実力をみて他のところも狙えるだろうというサジェスションはする。

・本事業の趣旨は、公金を使い生活困窮者のために塾をやるということが大前提だったので、今後もう少し整理しておかないといけないのかと思う。

・教育委員会にお伺いしたいのだが、学校の役割というのは何なのか。

→【事業協力課】学校は、隔たりなく全生徒に教育をしており、放課後の補習等も行っているが、子どもが家に帰って自分1人で勉強するか、また、一緒に勉強していただける方がいるか、いないかというのは、自力でできるかできないかというところの難しい子にとってはとても大事なところかと思っている。

・ボランティア活動と公金を使うということの違いをきちんと整理しておくために、会員の中に先生の経験者が居るかどうかが調査をしてみんなでフォローし合ってボランティア活動をし、それを教育委員会が応援していくという形ならわかる。

・にこにこ学習会の内容を教えていただきたい。

→〔学校教育課〕にこにこ学習会は、教育委員会で立ち上げたもので、放課後学習を行っている。対象は小学5、6年生からとなり、登録制で自学自習の手伝いができるよう取り組んでいる。講師の方は、教職経験者やボランティアの方で、誰でも勉強する意欲のある子は受けられるという案内をしている。

・その方たちに子ども未来塾の講師をお願いするわけにはいかないのか。来年以降よく工夫をし、統合する等、考えていってはどうかという1つの提案。

→すぐにできる自信がないが、子どもたちがのびのびと育ってくれるような環境をつくってあげるのが我々シニアの仕事だろうと思っている。

・教育委員会がアシストして教職経験者の方をお願いし、提案者がコーディネートして運営していくという棲み分けをすればいいと思う。団体の中にはこれまでビジネス等の経験をされている方は大勢居ると思うので、コーディネートする方は結構居るのではないかと思う。

→そういった話はしているところだが、実績としてはまだこれからとなる。やはり、そういったスキルを持った方がいるのが、教育委員会、あるいはその周辺なので、当然のことながらコラボしていくことはあつてしかるべきだと思っている。

## ■中間報告⑥

協働事業名：青色回転灯装着車両による防犯安全パトロール事業

団体名：小谷地域防犯安全パトロール隊

事業協力課：町民安全課

### 団体からの報告

・防犯パトロールをして以来、事件や事故もなく、小谷小学校の校長先生をはじめとしてPTAから感謝の言葉もいただいている。

・子どもたちが下校するときに声をかけると手を振ってくれたり、非常にいい関係を作られている。

・月2回、土曜日の日没前後ぐらいに合わせて、公園等で遊んでいる子どもたちに帰宅を促した。

### **事業協力課からの報告**

- ・平成28年度まで使用していた車両が車検で廃車になってしまったため、新しい車の使用にあたり、車の登録に必要な書類の作成及び警察への提出、手続を行った。
- ・青色回転灯を回転させて運行するには、警察の許可が必要になるため、町の職員向けの講習を実施する際に団体の方にも出席していただき、資格を取ってもらった。
- ・9月14日に、京急茅ヶ崎自動車学校で秋の全国交通安全運動の一環として、茅ヶ崎警察署が主催する高齢者を対象としたシルバーセーフティードライビングスクールに、団体から4名に出席していただき、交通安全意識の高揚と、車の運転マナー、ルールなどの再確認をしていただき、パトロール中の事故防止等に協力した。

### **質疑応答**

- ・できれば今後とも続けていただくために、色々と工夫をしていただければと思う。
  - 参加の声掛けは、なかなか場面がないので難しいかと思うが、伝えておく。
- ・事業提案時の収支予算書には見守り活動の回数の内訳が記載されているので、決算のときにも各月ごとの取り組み内容とは別に1年間の内訳を、入れていただくといいかと思う。
- ・町の青パトを使い、ボランティア団体が巡回した方が効率的だと思うので、ぜひ今年度中に次に繋げるためにお願いしたい。
  - 公用車なので、職員のみにはしか保険がきかないため、一般の方に貸し出しすることは出来ない状況だが、また庁舎内で検討・確認し、最終報告のときに回答できればと思う。
- ・今後の予算措置についての考えについてお聞きしたい。
  - 予算に関してはこれから町長査定などがあるため、またきちんと詰めさせていただければと思う。
- ・見守り隊の大きな事件があった後など、子どもたちや保護者との関係も非常にやりにくい時期があったのではないかと思うが、寒川のパトロール隊に影響があったのかどうか、お聞きしたい。
  - 私が活動に参加しているときに関してはそういったことは見受けられず、車で回っているときにも危ない道路に立っているPTA、保護者の方に「ご苦労さまです」と声をかけており、私は地域との良いふれ合いが出来ていると思うので、トラブル等を含めて、安心してこちらを見ていただけていると思っている。